DeepFreeze と連携した
アンチウイルスソフト定義ファイル更新方法
（McAfee 版）

（株）ネットワールド
SI 技術本部　作成

ご注意

この資料はFaronics社の正式レビューを受けておりません。

資料の内容には正確を期するよう注意しておりますが、この資料の内容は2012年7月30日現在の情報であり、今後変更になる可能性がありますのでご注意下さい。

当社が実際の動作環境をこの資料により保証するものではありません。

実際の設定、動作に関しては評価版にて事前にご確認いただけますようお願い申し上げます。

評価版は下記URLからダウンロード手続きが可能です。

http://www.networld.co.jp/faronics/eval.htm

また、ネットワールドでは評価版の無償サポート（30日）を用意しております。評価版ご使用の際、不明点等ございましたら弊社評価版サポートをご利用ください。

http://www.networld.co.jp/faronics/sup_eval.htm

本資料に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商号、登録商標または商品名称です。

更新履歴

作成 2009年12月10日

更新 2012年7月30日

Deep Freeze Enterprise をお使いの場合

定義ファイル更新の方法として、以下の２つの方法をご紹介いたします。

■アンチウイルスソフト側のアップデート機能を用いて更新を行う。

Deep Freeze のスケジュールされたメンテナンス時間帯中に合わせて、定義ファイルの更新を行うよう、アンチウイルスソフト側でスケジューリングし、更新を行わせます。

■定義ファイル更新用のバッチファイルを Deep Freeze に登録する。

アンチウイルスソフト側で、定義ファイル更新を開始できるコマンドがある場合、それを Deep Freeze に登録します。

Deep Freeze では、スケジュールされたメンテナンス時に登録されたコマンドを実行し、定義ファイル更新を開始させます。

Deep Freeze Standard をお使いの場合

手動で非保護モードへ PC を再起動し、定義ファイルの更新を行います。

Deep Freeze Enterprise をお使いの場合

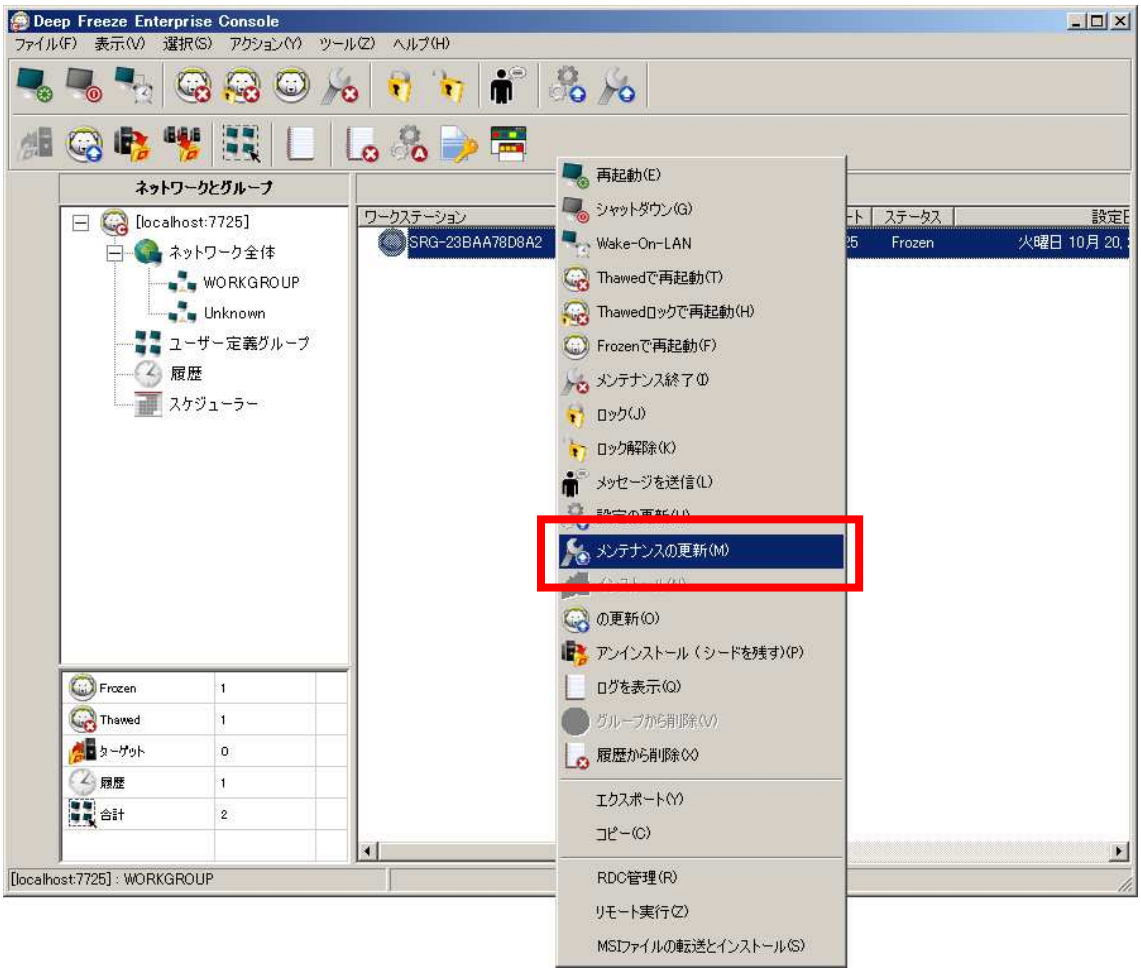
※クライアントには既に Deep Freeze Enterprise が組み込まれていることを前提とします。事前に定義ファイルの更新スケジュールが決定している場合は、クライアントのインストールファイルに設定を組み込むことが可能です。

※ご紹介する更新方法を使用される場合、対象のクライアント PC は起動しておく必要があります。電源が OFF になっていると、使用できません。

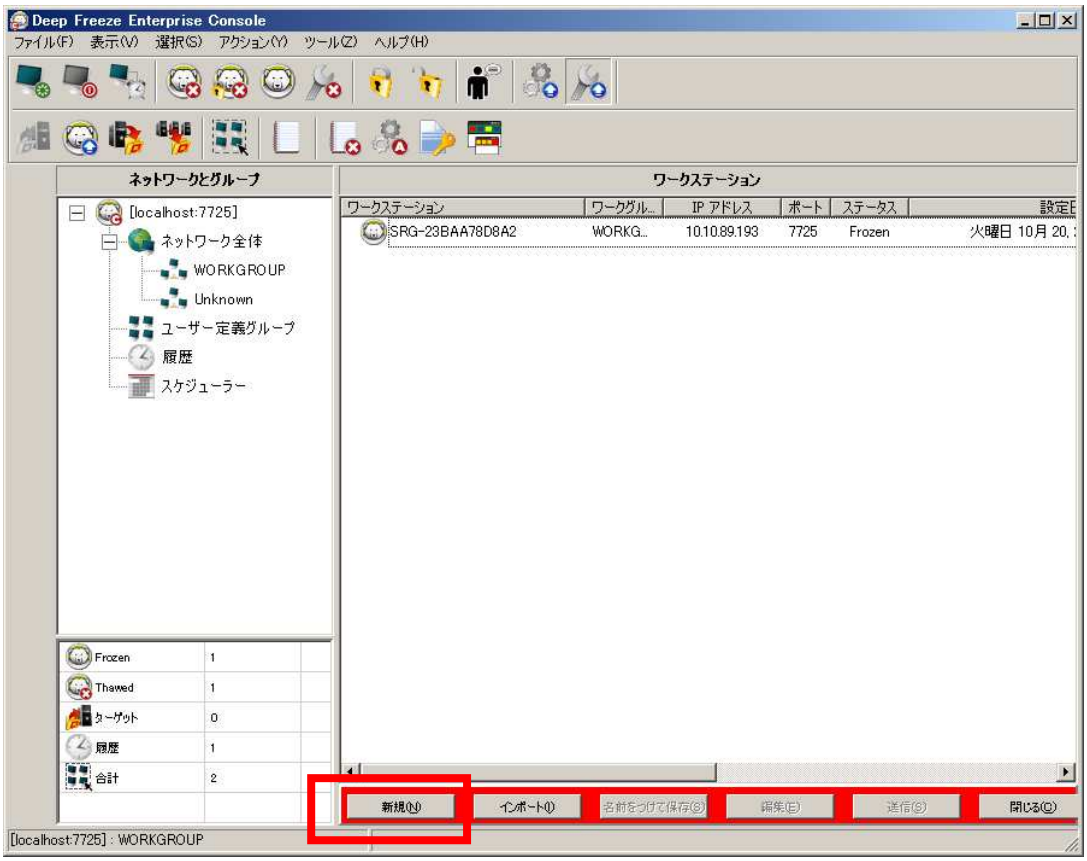
■ウイルス対策ソフト側のアップデート機能を用いて更新を行う

1. Enterprise コンソールを起動します

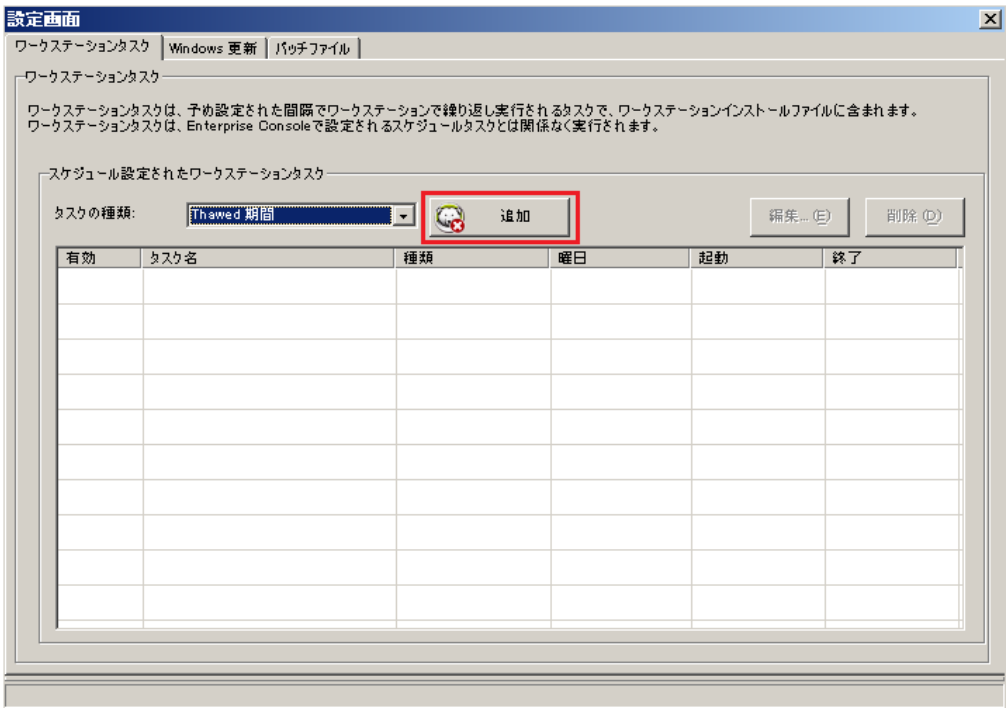
2. スケジュールを反映させたいクライアントを選択し、右クリックのコンテキストメニューから「メンテナンスの更新」を選択します



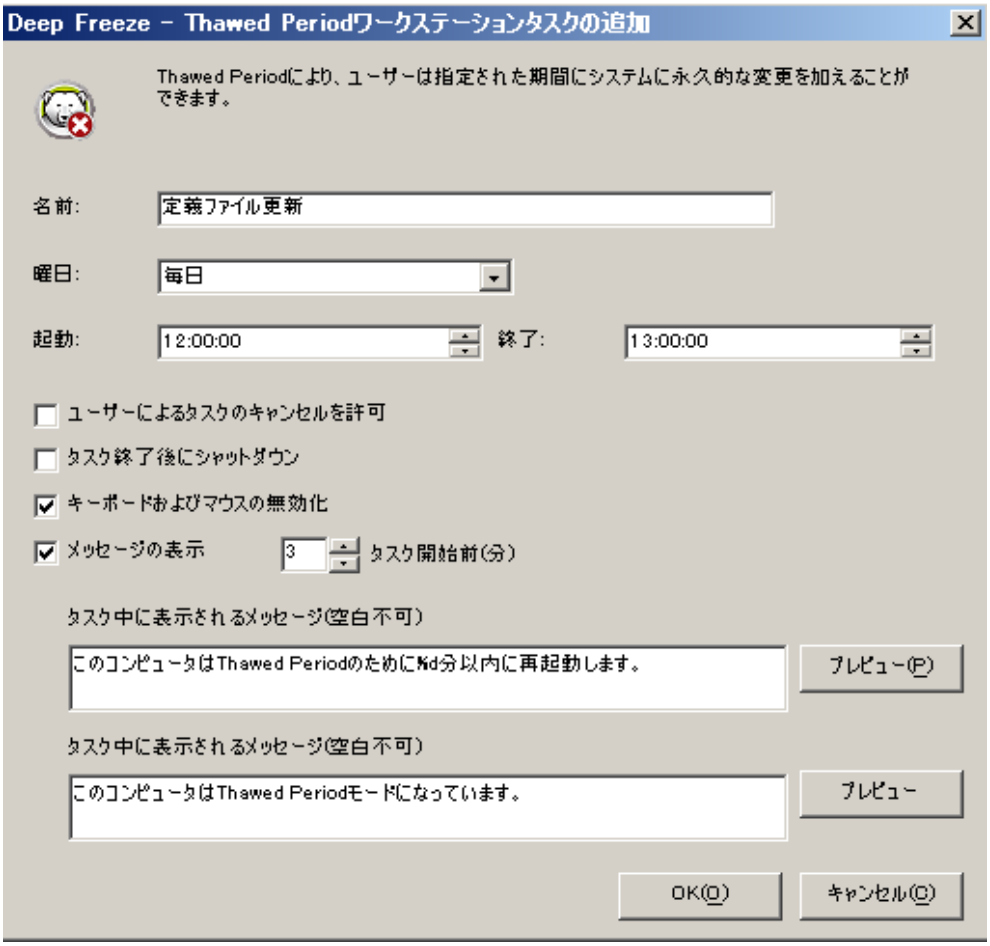
3. コンソール画面下にメニューバーが表示されるので、「新規」ボタンをクリックします



4. 設定画面が表示されるので、[ワークステーションタスク]タブのイベントの種類で[Thawed 期間]を選択し、[追加]ボタンをクリックします



5. タスクの名前やスケジュールなどを設定し、[OK]ボタンをクリックします

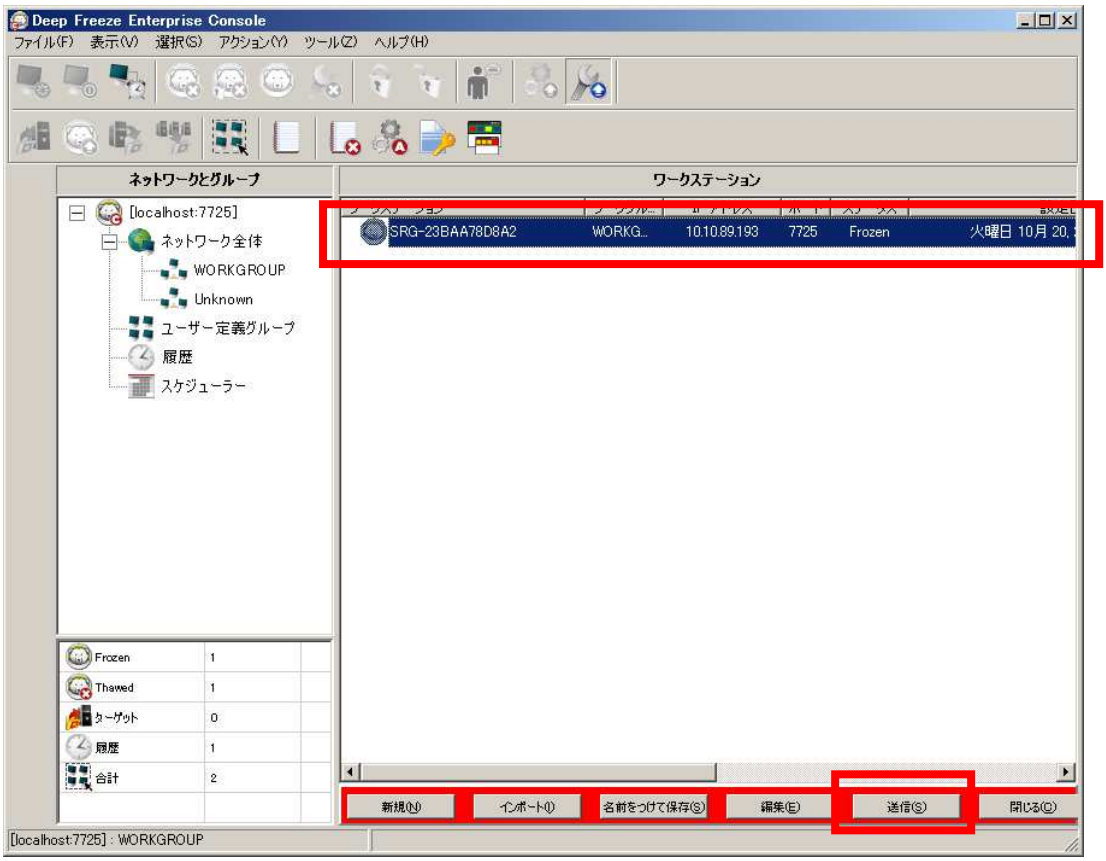


6. 「×」ボタンをクリックして、[設定画面]を閉じます

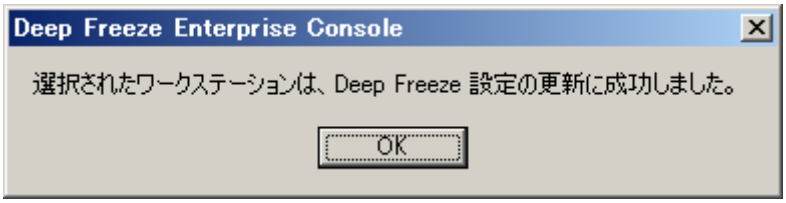
7. 以下画面のポップアップメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします



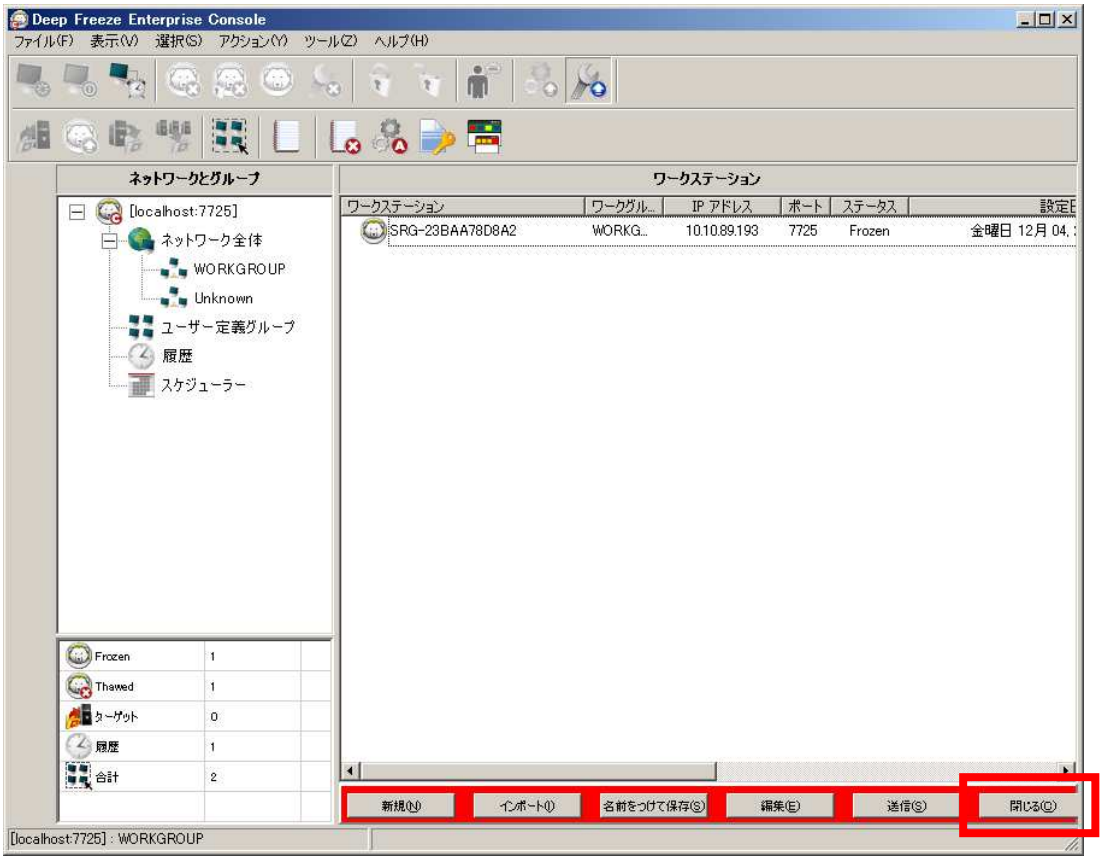
8. スケジュールを反映させたいクライアントを選択し、「送信」ボタンをクリックします



9. 以下画面のポップアップメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします



10. コンソール画面下メニューバーの「閉じる」ボタンをクリックし、設定変更を終了します



11. McAfee で、設定したメンテナンス期間内に定義ファイル更新を行うよう設定します



12. タスク開始時間に対象クライアント PC で以下のポップアップメッセージが表示され、表示された時間内に PC が非保護モードへ自動再起動します

※メンテナンス開始時間には、対象クライアント PC が起動されている必要があります。電源が OFF になっているとメンテナンスが開始されません



13. 再起動後は、ログイン画面でポップアップメッセージが表示され、Thawed Period 中であることがアナウンスされます

※バックグラウンドでは McAfee の定義ファイル更新が動作

※メンテナンス終了時間になると、保護モードへ PC が自動再起動



14. 再起動後、クライアントの定義ファイルが更新されていることを確認します

更新後

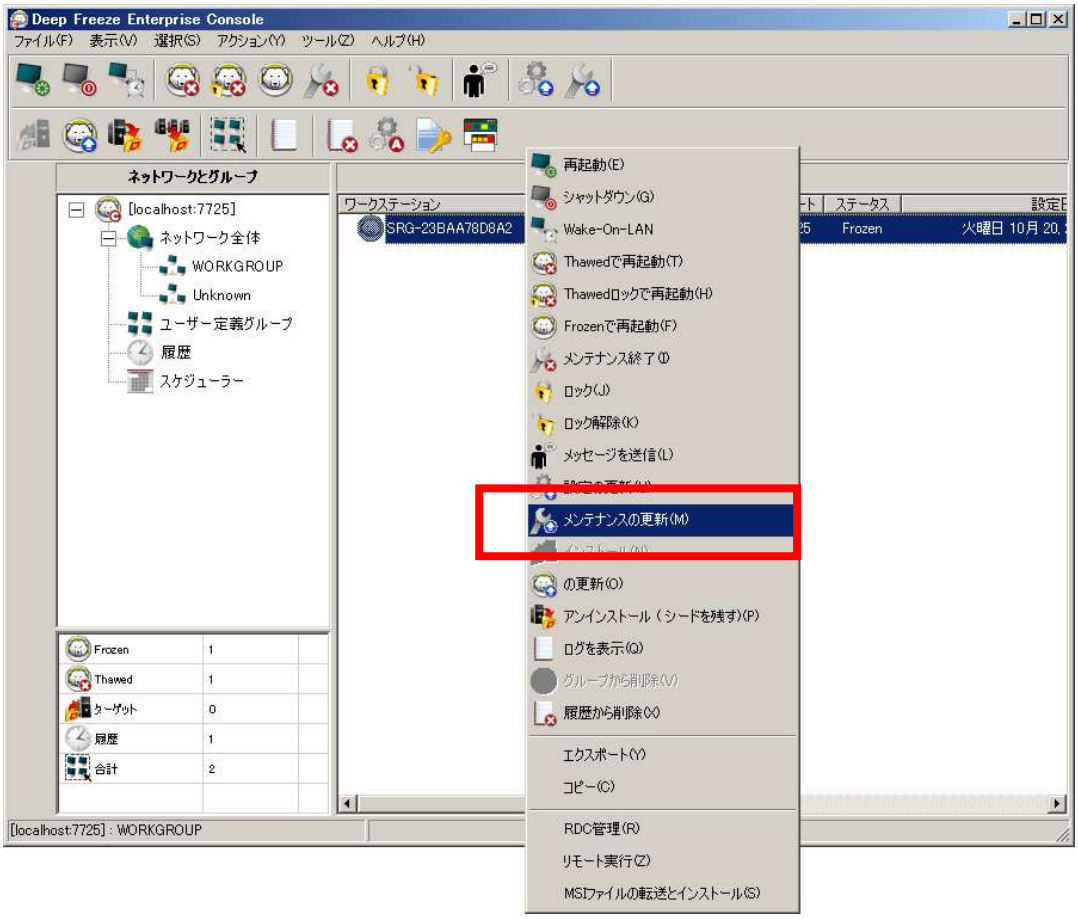




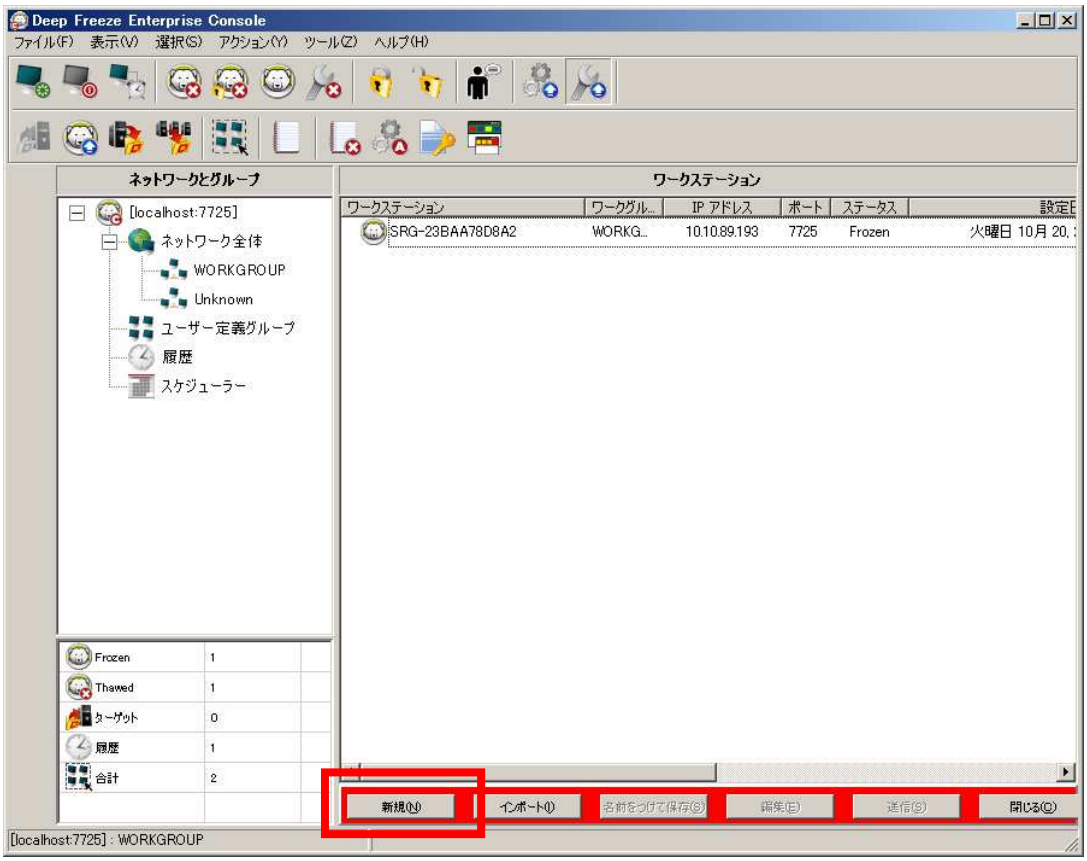
■定義ファイル更新用のバッチファイルを Deep Freeze に登録する

1. Enterprise コンソールを起動します

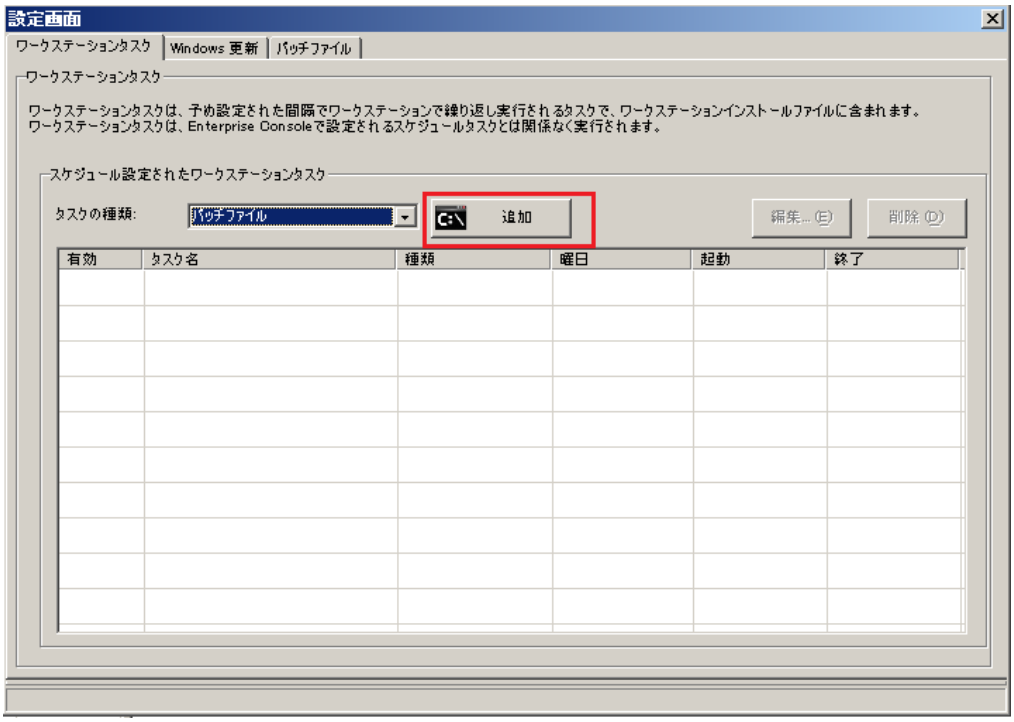
2. スケジュールを反映させたいクライアントを選択し、右クリックします
   コンテキストメニューから「メンテナンスの更新」を選択します



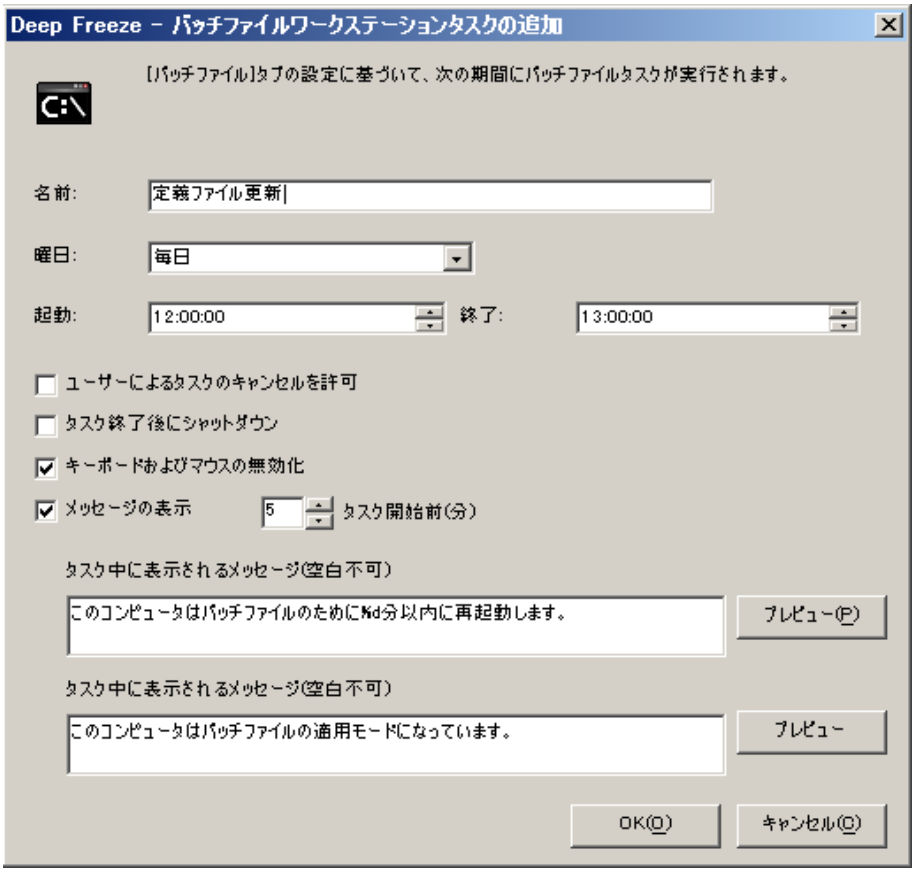
3. コンソール画面下にメニューバーが表示されるので、「新規」ボタンをクリックします



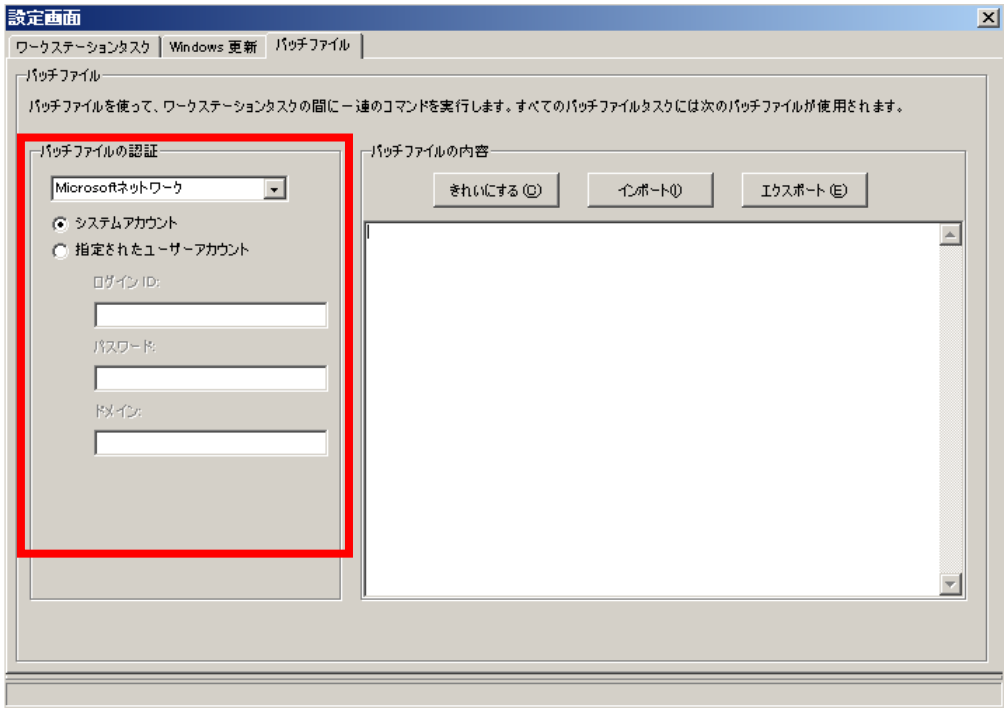
4. 設定画面が表示されるので、[ワークステーションタスク]タブのイベントの種類で「バッチファイル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします



5. タスクの名前やスケジュールなどを設定し、[OK]ボタンをクリックします



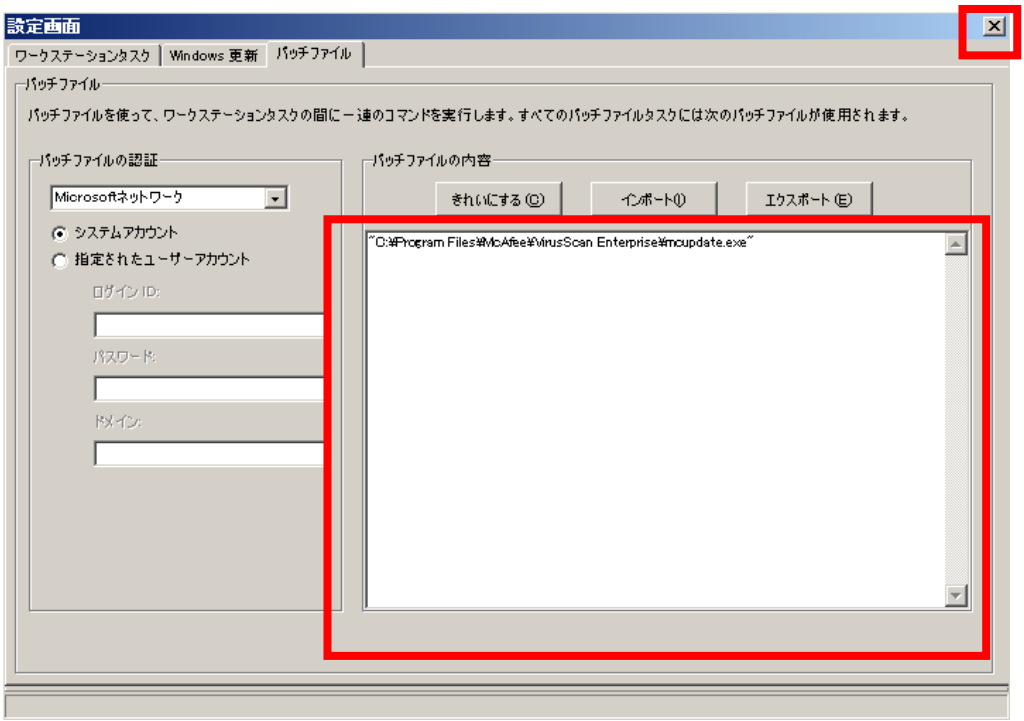
6. [バッチファイル]タブの[バッチファイルの認証]セクションで、定義ファイル更新を実行するアカウントを設定します



7. [バッチファイルの内容]セクションに定義ファイル更新の実行コマンドを入力し、「×」ボタンをクリックして画面を閉じます

＜定義ファイル実行コマンド＞

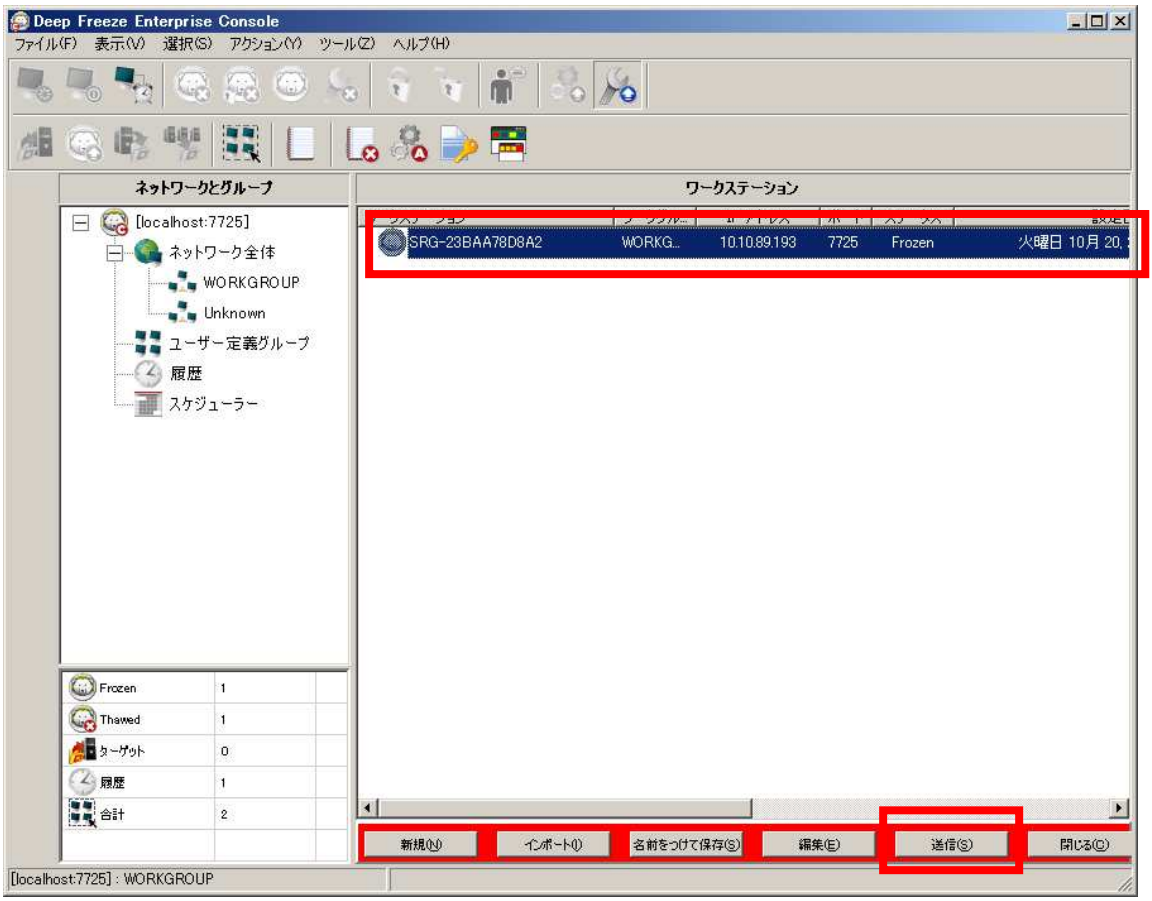
"C:¥Program Files¥McAfee¥VirusScan Enterprise¥mcupdate.exe"



8. 以下画面のポップアップメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします



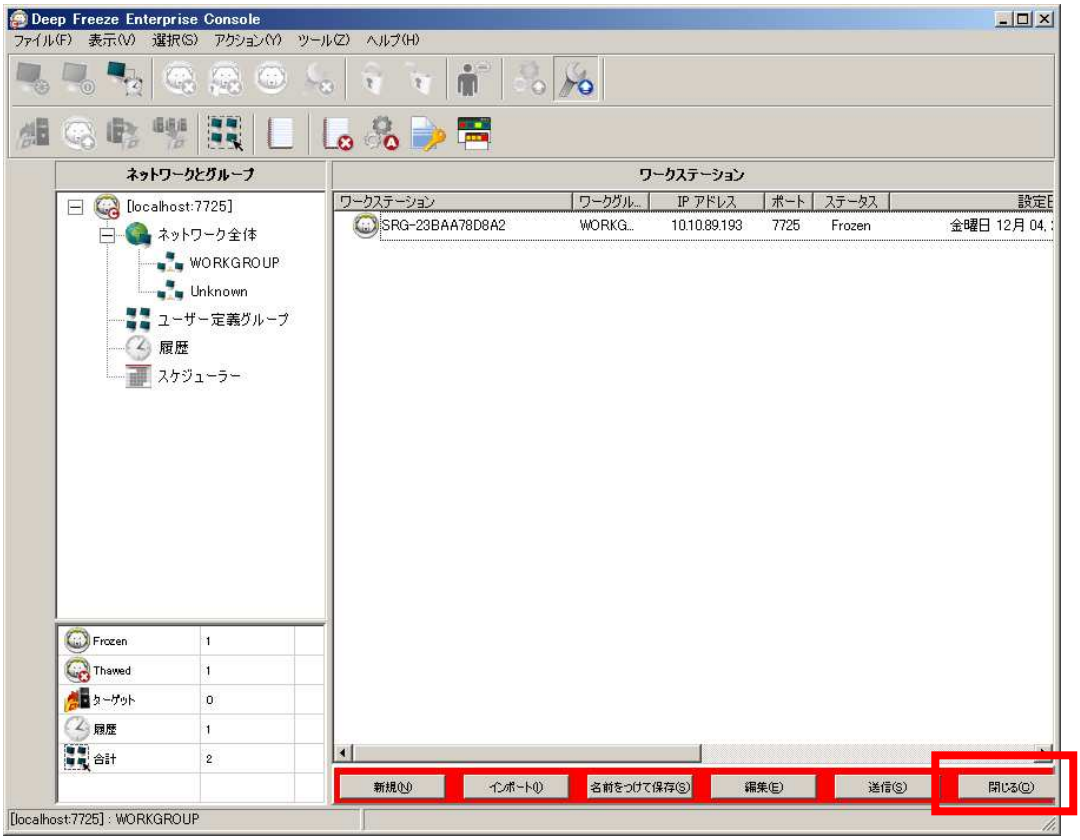
9. スケジュールを反映させたいクライアントを選択し、「送信」ボタンをクリックします



10. 以下画面のポップアップメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします



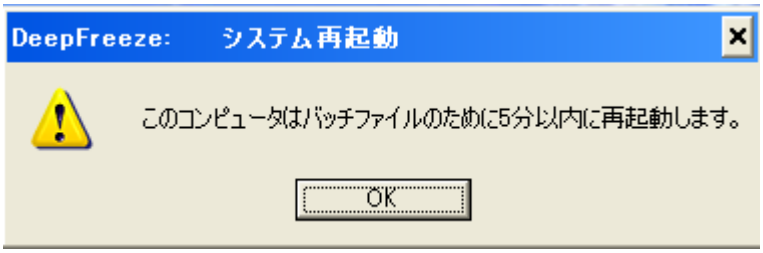
11. コンソール画面下メニューバーの「閉じる」ボタンをクリックし、設定変更を終了します



12. タスクの開始時間に対象クライアント PC で以下のポップアップメッセージが表示され、メッセージに表示された時間内に PC が非保護モードへ自動再起動します

※メンテナンス開始時間には、対象クライアント PC が起動されている必要があります。

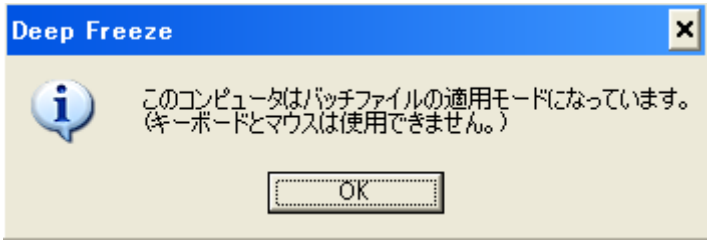
※電源が OFF になっているとメンテナンスが開始されません



13. 再起動後はログイン画面からポップアップメッセージが表示され、メンテナンス中であることがアナウンスされます

※バックグラウンドでは McAfee の定義ファイル更新が動作

※メンテナンス終了時間になると、保護モードへ PC が自動再起動



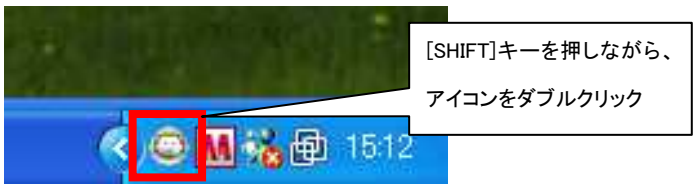
14. 再起動後、クライアントの定義ファイルが更新されていることを確認します





Deep Freeze Standard をお使いの場合

1．[SHIFT]キーを押しながら、システムトレイにある Deep Freeze アイコンをダブルクリックします。または、[CTRL]+[SHIFT]+[ALT]+[F6] を同時に押します（キーボードのショートカット）

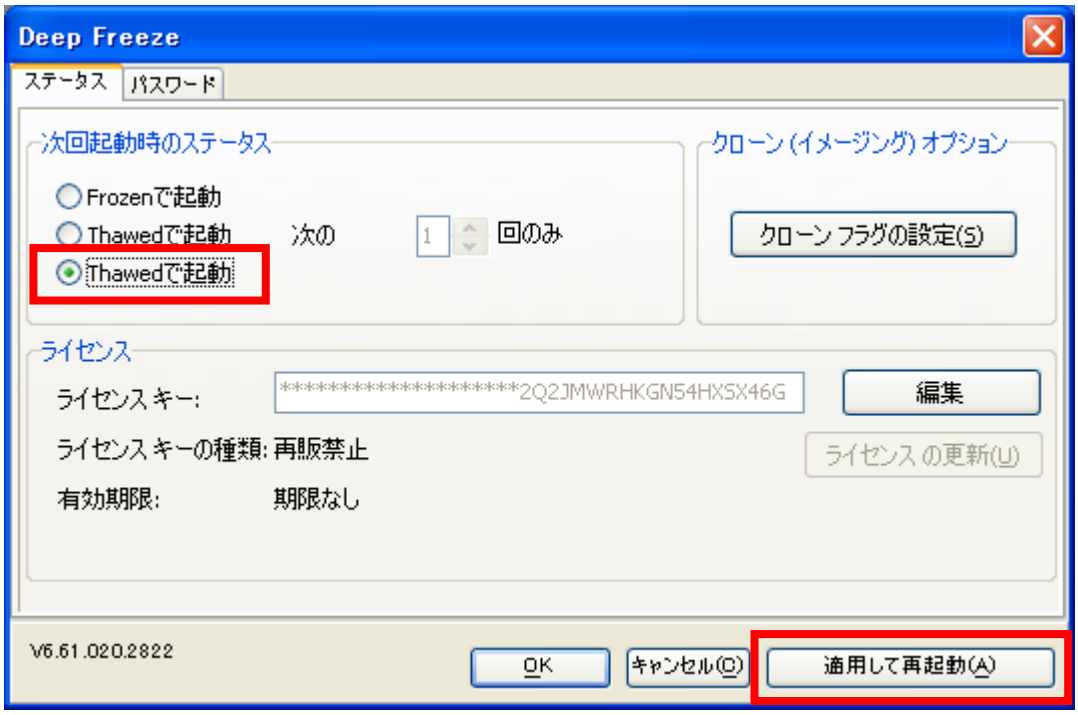


2．以下ログイン画面が表示されるので、パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします

※デフォルトのパスワードは空です。

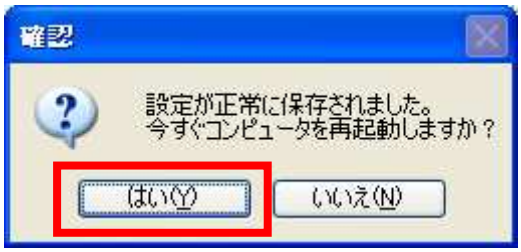


３．[ステータス]タブの[次回起動時のステータス]で、「Thawed で起動」を選択し、「適用して再起動」ボタンをクリックします。



４．以下のポップアップ画面が表示されるので、「OK」及び「はい」ボタンをクリックします





４．自動的に非保護モードで再起動されるので、手動で定義ファイルの更新を行う。

